



建交労



2025年9月16日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2025年秋季年末闘争No.1

2024年度推進ニュース③通算382

発行責任者 小島 茂

全国酸素部会第43回総会9/14川崎で開催 41名の仲間が全国から結集して成功させる！

9月14日9:00～カルッツかわさきで全国酸素部会第43回総会が開催されました。全国から31名が参加、神奈川県南支部はイワサワ分会の木下・舟柳・萩野、東進分会の須田、エネックス分会の小島が参加しました。総会議長には関東マルエスの伊藤と江藤運輸の村上が選出されました（敬称略）。

総会冒頭では来賓として全国トラック部会の鈴木事務局長が挨拶、「2024年のトラック時間外労働上限規制による輸送力への大



主催者として挨拶をする相澤部会長



来賓の挨拶をする鈴木事務局長

きな影響はなかったが、2024年度の過労死等労災補償は前年を上回り16年連続ワーストワンとなった」と報告。また「札幌ドライバー過労死認定を勝ち取る会」への加入・協力を呼びかけました。続いて諸事情で遅れて参加した相澤部会長が主催者挨拶し「国政選挙を振り返って、選挙戦は諦めたら何も変わらない。労働組合運動も同じだ」と挨拶しました。次に村上事務局長が経過報告と2026年度運動方針

を提案、橋本会計担当が会計報告、各連絡会から報告があり2026年度第43期役員には神奈川県南支部の須田と木下が副部会長に再任され（敬称略）、最後に相澤部会長によるガンバロー三唱で総会を終了しました。

昼食後の「高圧ガスの輸送保安講習会」「トラック事業適正化関連法学習会」には、イワサワ分会の坂本・菅原・林、東進分会の生井沢、合同分会の和泉・大島が参加（敬称略）、全体参加は41名となりました。「高圧ガス輸送保安講習会」は、経済産業省本省高圧ガス保安室の山田哲也氏が高圧ガスの規制、保安法の目的、事故事例、事故の原因分析、インターネット通販等における高圧法関連製品に関わる注意喚起について講演、日本産業・医療ガス協会の前田和也氏は高圧ガスの危険性、有毒性、健康障害を防止するための処置等、災害発生時の事例、災害発生時の対策について講演されました。



また「トラック事業適正化関連法学習会」では全国トラック部会の鈴木事務局長から6月4日「トラック適正化法」可決の経過報告と2024年4月施行の自動車運転業務の時間外労働の上限規制は過労死認定基準と同等の時間外労働を容認するものであり、見直しに向

けた検討が必要との指摘がありました。予定したすべての日程は15時過ぎに終了しました。

本ページの記事と写真の提供は小島茂支部委員長でした。

神奈川労連第41回定期大会9/14開催！ 組織を強く大きく、大幅賃上げ・職場の改善と 人権が尊重される平和・公共・政治を実現しよう



2025年9月14日(日) かながわ労働プラザ



写真上から住谷議長
秋山全労連議長
山田事務局長
建交労の稲川代議員

神奈川労連は9月14日10:00～17:00にかけて第41回定期大会を「かながわ労働プラザ」に於いて開催し、代議員109名（産別73名、地域36名）をはじめ役員・来賓・争議組合など150名余が結集して成功させました。建交労からは神奈川県本部の稲川執行委員（ダンプ支部）、平山執行委員（横浜事業団支部）と赤羽（神奈川県南支部）が代議員として、高橋県本部書記長は神奈川労連副議長として出席しました。また、神奈川県南支部の金崎書記長は川崎労連の代議員として出席しています。

議事は2つの大会任務（①1年間の運動総括と要求を前進させる運動方針の確立、②運動を保障する財政の確立）を明確にして、住谷議長の主催者挨拶、秋山全労連議長、労働弁護団代表による来賓挨拶などについて、山田事務局長からは「4つの運動方針の基調」

（①「対話と学びあい」の実践で組織を強く大きくする、②すべての組合員・労働者の大幅賃上げの実現、③働きやすい・働きがいのある職場の実現、④人権が保障される平和・公共・政治の実現）による方針が提起されました。討論では方針案にかみ合った積極的な発言が行われ組織建設を軸に23名から発言がありました。建交労からは稲川代議員が軽貨物ユニオン&パート労働者によるヤマト運輸との闘争と支援要請、ダンプ労働者のたたかいを発言しました。

討論終了後には、山田事務局長の討論のまとめを含めて提案されたすべての議案が全員一致で採択されて閉会しました。

